

会 議 記 録					
会議の名称	決算特別委員会 (全体会)			会議場所	全員協議会室
				担当職員	鈴木 智
日時	令和元年9月26日(木)			開 議	午前 11 時 00 分
				閉 議	午後 1 時 22 分
出席委員	藤本委員長、福井副委員長(総務文教分科会委員長)、富谷環境厚生分科会委員長、小川産業建設分科会委員長 ほか委員18人 [齊藤議長、平本議員]				
執行機関出席者					
事務局出席者	山内事務局長、井上次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、佐藤主任、山末主査				
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	執行機関0名	—

## 会 議 の 概 要

1 1 : 0 0

### 1 開 議

- [藤本委員長 開議]
- [事務局長 説明]

### 2 決算審査

#### (1) 分科会委員長報告(報告、質疑)

- [報告]
- [福井総務文教分科会委員長 分科会審査報告]
- [富谷環境厚生分科会委員長 分科会審査報告]
- [小川産業建設分科会委員長 分科会審査報告]

- [質疑]
- なし

#### (2) 事務事業評価(分科会)結果(質疑)

- [質疑]

##### <赤坂委員>

「離れ」にのうみに関して、移住・定住促進経費の評価は廃止となっている。移住者を呼び込み、人口減少を食い止めるという事業目的が達成できていなかったということだが、詳細に説明いただきたい。

##### <福井副委員長(総務文教分科会委員長)>

承知いただいているように、「離れ」にのうみの目的は、1つは移住・定住の促進であり、もう1つは観光の推進ということであった。初年度の平成30年度は、稼働率等を上げていこうと頑張って取り組まれたが、目標が30%のところ、実稼働率は21%であった。当初予算の段階で

は、移住・定住を目的として宿泊された方を、市内に案内することとしていたにもかかわらず、移住・定住目的で宿泊された方はゼロであった。また、今後の見通しとしては、2～3人という答弁であった。1つの考え方として、観光で来られた方が亀岡のよいところを見て、リピーターになってくれるという理屈はわかるが、それはまさに観光である。移住・定住の目的でつくられた施設であるが、委員からは余り目的が達成できていないという意見があった。そして委員会としては、1つ目は、「現状では、「離れ」にのうみの第一の設置目的である、移住者を呼び込み、人口減少を食い止めるという事業目的が達成できていない。」、2つ目は、「「離れ」にのうみを効果的に活用するために、移住促進施設から観光振興施設へと切り替えを図り、指定管理者制度を導入するなど、観光施策の中で稼働率を上げ、シティプロモーションに努められたい。」、3つ目は「「離れ」にのうみを利用して、移住・定住促進イベントを開催するなど、移住・定住促進事業としても活用を図られたい。」という意見を付したところである。廃止としたことに関しては、建物を廃止することや移住・定住促進経費をなくすということではなく、移住者を呼び込み、人口減少を食い止めるという事業目的に沿っていないので、その部分については廃止すべきだという判断・評価であった。

<赤坂委員>

よくわかった。

11:24

### (3) 委員間討議

(なし)

<藤本委員長>

再開は、午後1時とする。

11:25

<休憩 11:25～13:00>

13:00

### (4) 討論

<並河委員>

共産党議員団を代表し、平成30年度一般会計決算について反対討論を行う。当初予算は総額309億4,100万円、対前年度比8.0%の減額予算として計上されたが、決算は歳入が334億6,113万1,000円となっている。市政方針で、平成30年4月から第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画のシンボルプロジェクトとして、京都スタジアムを新たなランドマークとして、スポーツを通じた健全育成はもとより、経済の活性化、にぎわいづくりなど、その効果を最大限発揮することを目指し、新たな取り組みをスタートさせるとの説明であった。スタジアム建設の2回の土地購入費だけでも34億円をつぎこんできた

が、現在、工事が完成に近づきつつある中で、遊水機能を持つ場所でもあり交通渋滞等、解決されていない問題も多く、中止する必要がある。市民生活の予算が削られ、スタジアムよりも暮らしや福祉を充実してほしい。市民のささやかなサークル活動を行う亀岡会館がなくなり、文化施設建設の要望も強く寄せられている。2款総務費、移住・定住促進経費の移住・定住促進事業の見通しの甘さや、3款民生費、文化センター運営経費のチェック機能の甘さ、公正公平を期する行政の主体性のなさを指摘する。3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、くらしの資金貸付経費については通年化の希望も強く、市民の願いに応える制度にすべきである。4款衛生費、4目環境衛生費、火葬場等経費、その他業務委託料の、亀岡市新火葬場整備基本計画策定業務の委託料であるが、建設を余部町丸山ありきで進めようとしている。都市計画決定された場所であるという説明であるが、周辺住民への説明もされず、住民合意は後回しにして、余部町丸山を前提とした整備計画の策定を認めることはできない。7款商工費、商工業振興費、商工業振興対策経費は、地域経済にどれだけの効果があったのか。地元商店街や個店を振興し、活性化させたのか疑問がある。地元業者の実態を把握し、実態に合った施策で支援すべきである。10款教育費、生涯学習推進経費、俳句事業経費は、大河ドラマ麒麟がくる決定記念事業として実施されたが、思い通りの予算と言わざるを得ない。10款教育費、学校運営経費、選択制デリバリー弁当実施経費について、京都府下の自治体で中学校給食の未実施や方向性が決まっていないのは亀岡市だけとなり、1番遅れた自治体となった。子どもの貧困が言われる中で、選択制デリバリー弁当ではなく、全員が同じものを食べる給食を1日も早く実施すべきである。詳しくは本会議で述べる。

<松山委員>

緑風会を代表し、第16号議案、平成30年度一般会計決算について賛成の立場で討論を行う。歳入は市税100億円を維持し、ふるさと力向上寄附金の増収や特定財源等、収入の確保に努められた。歳出では、多くの課題に積極的に取り組まれ、おおむね計画的に市民福祉の増進に向けた事務事業執行に努められ、実質収支5億5,386万円の黒字となった。今後は事業の選択を行うとともに、あらゆる視点で財源確保を願う。詳しくは本会議で述べる。

<山本委員>

公明党議員団を代表し、第16号議案、平成30年度一般会計決算について賛成の立場で討論を行う。財源確保に努められ、予算に対する執行状況は審査過程で意見を述べたが、おおむね適正に事業執行されており、良とする。詳しくは本会議で述べる。

<大塚委員>

新清流会を代表し、第16号議案、平成30年度一般会計決算について賛成の立場で討論を行う。環境先進都市を目指す中で、効果的な啓発・保全活動が行われており、さらなる充実を期待する。昨年の7月豪雨をはじめ、度重なる暴風・豪雨により被った、農業施設の被害や山林にお

ける倒木等による林業被害に対し、被災者に対する早期生活支援を迅速適切に実施されたことを評価する。また、学校施設の充実をはじめ、さまざまな事業に対し、適切な予算執行が行われ良とする。詳しくは本会議で述べる。

13 : 07

### (5) 採決

- 第16号議案（一般会計） 賛成多数  
（反対：長澤、三上、田中、並河）
- 第17号議案（国保会計） 全員賛成
- 第18号議案（休日診療会計） 全員賛成
- 第19号議案（地域下水会計） 全員賛成
- 第20号議案（介護保険会計） 全員賛成
- 第21号議案（後期高齢会計） 全員賛成
- 第22号議案（土地取得会計） 全員賛成
- 第23号議案（曾我部山林会計） 全員賛成
- 第24号議案（水道会計） 全員賛成
- 第25号議案（下水道会計） 全員賛成
- 第26号議案（病院会計） 全員賛成
- 第27～56号議案（30財産区） 全員賛成
- 第60号議案（水道事業未処分剰余金） 全員賛成
- 第61号議案（下水道事業未処分剰余金） 全員賛成

13 : 13

### (6) 指摘要望

<藤本委員長>

各分科会からの指摘要望事項を、決算特別委員会全体会の指摘要望事項として取り扱うことについて異議はないか。

（異議なし）

<藤本委員長>

それでは、そのように取り扱う。

### (7) 事務事業評価の決定

<藤本委員長>

分科会の事務事業評価結果について、決算特別委員会全体会の評価と決定し、執行機関に送付することに異議はないか。

（異議なし）

<藤本委員長>

それでは、そのように取り扱う。

## 3 その他

### (1) 決算特別委員会委員長報告について

<藤本委員長>

委員長報告については、本日、決算特別委員会全体会の冒頭に各分科会委員長から報告いただいた内容をもとに、決算特別委員会正副委員長と各分科会委員長との協議により、決算特別委員会全体会の委員長報告として、10月1日の本会議において報告することとなる。了承いただくよう、よろしくお願いする。特に委員長報告に盛り込むべきことはないか。

<木曾委員>

総務文教分科会の事務事業評価で廃止、縮小となった内容について、全体会の委員長報告に入れていただきたい。この内容については、よりわかりやすく、その内容を委員長報告に入れていただくことが大事だと思うので、皆さんの理解をいただきたい。

<藤本委員長>

木曾委員の意見を入れていく方向で検討する。内容については、正副委員長及び各分科会委員長に一任いただきたい。

## (2) 議会だよりについて

[正副委員長一任を確認]

[福井副委員長 あいさつ]

[齊藤議長 あいさつ]

[事務局長 会議予定を説明]

[藤本委員長 閉議]

散会 13:22